

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント禁止を就業規則に定め、セミナー開催し教育している。 ・社内に相談窓口及び目安箱を設置し、実態の把握と対応・対策を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生委員会を設置し労働環境の整備に取り組んでいる。 ・現場手順書に基づいた機器の始業前点検を実施している。 ・毎朝就業時間15分の全体清掃で職場環境保全を行っている。 ・毎朝就業時間での全体ラジオ体操で身体を整えている。 ・午後2時から3分間の目つぶりリフレッシュタイムを実施している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・就業規則に同一労働同一賃金ガイドラインに沿った賃金体系を定めている。 ・最低賃金を遵守している。					5.5				8.5	10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・就業規則に定める従業員代表との「時間外・休日労働に関する協定」を締結し(労働基準監督署へ提出)、適正な労働時間を設定している。 ・経営指導として、残業時間枠の短縮及び制限を明示し徹底に取り組んでいる。 ・創業以来の隔週週休2日を、2023年から段階的に完全週休2日へ移行している。			3		5.5				8.5 8.8	10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・各部門毎に業務力量評価を行い、個人別年間教育訓練計画を作成し実施している。 ・総務部門主導により、階層毎の社外教育を積極的に受講している。 ・技術部門は県産業技術センター主催の講習会や教育コースを受講している。				4	5.5				8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年、健康診断及び鉛作業健康診断を実施している。 ・毎月、産業医循環によるパルスオキシメータ測定を実施している。 ・毎朝、就業時間内に全員でラジオ体操を実施している。 ・毎年、外部機関によるストレスチェックを実施している。			3						8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・子育て世代の積極的なパート採用を行い、子育てを優先できる共助の職場環境を実現している。 ・障害者の採用や障害者施設との取引を行っている。 ・定年後の再雇用による高齢者活用を行っている。				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3								16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。	●		・コロナ感染が5類になったことで社内対策としてのマスク着用は任意となり、体調不良時や発熱や風邪症状がある場合は、無理せず自宅療養し、必要に応じて医療機関を受診、また、症状が重くない場合は、あらかじめ用意した抗原検査キットなどで自主的に検査し、自宅で療養するように朝礼等で周知している。 ・手作業の製造業のためテレワークには適さないが、社外関係先とはWeb会議、また、セミナーもオンライン受講を推進している。			3						8	9.1	11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・見積、受注管理、部材手配、工程管理、納品、売上管理から棚卸資産管理までの、一元化したデータベースによる生産管理システムの構築を進めている。 ・新たな発注管理システムの構築を進めている。(2025年10月より稼働予定) ・Googleフォームの活用によりアンケートをデジタル化している。 ・経理仕訳においてAI導入システムが入り業務効率化が進んでいる。									8	9.1	11	12						
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2025年度プライト企業応募済み、2025年10月認定予定			3	4					8	9		12							

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物ゴミ類の分別箱の設置と、当番による毎朝掃除時間での収集処理(分別しビニール袋まとめ、段ボールや紙類を週末に再生回収業者へ持込)を実施している。 ・分別収集ビニール袋は専用倉庫保管し、認定業者による引取りを実施している。 ・洗浄液など廃液は専用缶で専用倉庫保管し、認定業者引取りを実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力使用量の把握と削減においては、日本テクノのデマンド設置で一日の上限を決め、社内全体にアラームによる使用量の周知を実施し、上限を超える前にエアコンの温度調整や使用していない照明のスイッチOFFなど、随時削減に取り組んでいる。また、使用量を日本テクノマイページで管理して定期的に周知し削減の意識づけを行っている。 ・全照明のLEDへの入替え、省エネエアコンへの置換えを行い電力削減を実現している。 ・工場屋根及び外壁へ断熱効果の高い塗装を施し、電力削減を実現している。 ・社有車は運転日報記入を徹底し、走行距離と給油量を把握し、その削減に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・温室効果ガス排出量は熊本県の簡易算出シートを用いて把握している。また、肥後銀行の「炭削くん」も活用し排出量の可視化を行っている。 ・デマンドを設置し、工場内LED照明化や空調機更新、屋根や外壁の断熱塗装などによる電力量削減を進めている。		2.4									7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境理念を定め、その行動指針(1.徹底した節電による省エネルギー化の推進 2.廃棄物削減及び資源化利用の推進 3.環境負荷の低減と汚染防止を積極的に推進)に取り組んでいる。 1.節電は日本テクノのデマンドデータによる省エネルギーを推進している。 2. 廃棄物に関しては、ゴミの分別の徹底。また、資源化利用に関しては、廃材電線の再利用業者へ引取り推進をしている。 3. 環境負荷低減に関しては、鉛はんだから鉛フリーはんだに変更、製品の9割は鉛フリーはんだを使用し、その上で吸煙器の使用により人体に影響が出ないように取り組んでいる。健康診断項目に、鉛項目を追加し、毎年、個人の鉛量も測定しているが全員が基準値より下回っている。						6.6										14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・製品納入時の通い箱化による段ボール削減を進めている。 ・コピー用紙の裏紙利用や、入荷段ボールの再利用を進めている。 ・段ボールや紙類の分別回収と再生業者への提供(無償)を行っている。 ・受注管理表・作業日報のDX化によるコピー用紙使用枚数の削減。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水資源管理用IoTシステム開発に取り組んでおり、江津湖2ヶ所に通年水温測定システムを設置した。(地元高校の活動にシステム提供)		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・鉛フリー半田を主体に使用など、環境負荷の少ない部材(RoHS適合など)の使用を進めている。 ・環境測定に適用できるIoTシステムの開発を進めている。										9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4								12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・会社敷地公道側全面に生垣(一部には花壇)を配置し、日常と定期的に手入れを行っている。 ・会社建屋表側2側面沿いに生垣を配置し、日常と定期的に手入れを行っている。															11.6 11.7		13.1 13.3	15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・工場屋根及び外壁を断熱効果の高い塗装に変更し、冷暖房電力削減を行った。 ・全照明のLEDへの入替え、省エネエアコンへの置換えを行い電力削減を行った。									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																	12.2 12.5		14				
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●																	9.4		11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																	7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.2

